

Panasonic

パーソナルコンピューター
取扱説明書

品番 CF-R1シリーズ

2000 XP

本書以外のマニュアル

- H"IN サインアップマニュアル *1
- 操作マニュアル
  画面で見るマニュアルです。本機をより活用するための拡張方法などについて説明しています。見かたについては20ページを参照してください。
  もくじ
  使用上のお願い / キーの組み合わせによる操作 / 状態表示ランプ / フラットパッドの操作 / スタンバイ・休止状態機能 / セキュリティ機能 / 省電力機能/バッテリーパック/CN-Stage/PC カード /SD メモリー / マルチメディアカード/RAMモジュール/外部ディスプレイ/USB機器/モデム / 携帯電話・PHS 電話 /LAN 機能 / 無線LAN機能 *2/H" IN モジュール*1/ネットセレクター/セットアップユーティリティ / 技術情報 / DMI ビューアー / エラーコードが表示されたら / 困ったときの Q&A

*1 H"IN モジュール内蔵モデルのみ
*2 無線 LAN モジュール内蔵モデルのみ

上手に使って上手に節電

もくじ

お使いになる前に

ページ

安全上のご注意 2
使用上のお願い 5
はじめて使うとき 7
オンラインメンバー登録をする 12
＜個人向けモデルのみ＞

操作の方法

操作を始める / 終わる 16
操作マニュアル 20
保管・持ち運び・お手入れ 21

困った時は

エラーコードが表示されたら 22
困ったときの Q&A 23
再インストールのしかた 27
（ハードディスク リカバリー）

ソフトウェア使用許諾書 29
各部の名称と働き 30
仕様 32
保証とアフターサービス 34

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

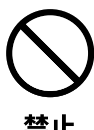
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

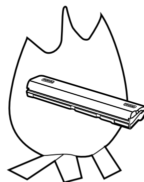
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

お使いになる前に

バッテリーパックに関する注意 ⚠危険

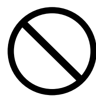
火中に投入したり加熱したりしない

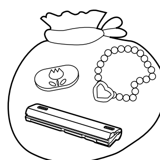




発熱・発火・破裂の原因になります。

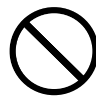
ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

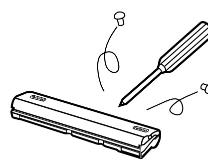




発熱・発火・破裂の原因になります。

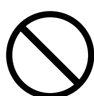
クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

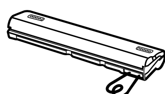




発熱・発火・破裂の原因になります。

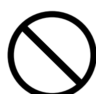
プラス(＋)とマイナス(－)を金属などで接触させない

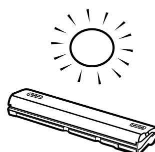




発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

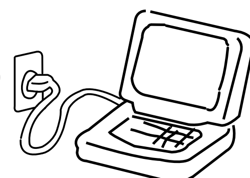




発熱・発火・破裂の原因になります。

指定された方法で充電する

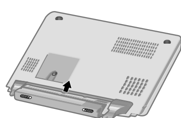




取扱説明書に記載された方法で充電しないと発熱・発火・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

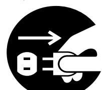




CF-R1シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く



電源プラグを抜く

•本体が破損した •本体内に異物が入った
•煙が出ている •異臭がする
•異常に熱い
などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

● 異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、ご相談窓口にご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、ご相談窓口にご相談ください。

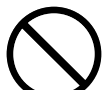
電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

本機を改造しない また、本書に記載のない方法で分解しない



分解禁止



⚠警告
高電圧に注意 本機を分解・改造しない

[本体に表示した事項]

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

本機の上に水などの入った容器や金属物を置かない



禁止



水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

● 内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、ご相談窓口にご相談ください。

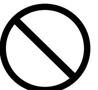
<無線LANモジュール内蔵モデル/H"INモジュール内蔵モデルのみ>

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す



電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない



禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠警告

<無線LANモジュール内蔵モデル/H"INモジュール内蔵モデルのみ>

航空機内では電源を切る *1



運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る *1（手術室、集中治療室、CCU*2等には持ち込まない）



本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

*2 CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る *1

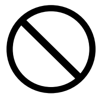


電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

*1 このような環境でコンピューター本体を使用したいとき
- 無線LANモジュール内蔵モデルの場合は、[コントロールパネル]（Windows XP：[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]）-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]-[ネットワークアダプタ]-[ORiNOCO Mini PCI Card]-[プロパティ]の「このデバイスを使わない」にチェックマークを付けて無線LAN機能を無効にしてください。（☞『操作マニュアル』「無線LAN機能」）
- H"INモジュール内蔵モデルの場合は、H"INモジュールスイッチをオフにしてください。（☞『操作マニュアル』「H"INモジュール」）

⚠注意

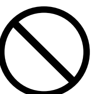
不安定な場所に置かない



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

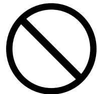
湿気やほこりの多い場所に置かない



禁止

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない



禁止

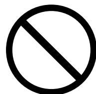
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

1時間ごとに10〜15分間の休憩をとる



長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

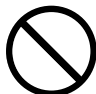
ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

炎天下の車中に長時間放置しない



禁止

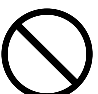
高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

モデムは日本国内の一般電話回線で使用する



会社、事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話のデジタル側コンセントに接続したり、海外で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない



禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

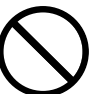
- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いてご相談窓口にご相談ください。

電源コードはプラグ部分を持って抜く



電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

長時間直接触れて使用しない



禁止

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど*の原因になります。

* 低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接触れていると、低温やけどを起こすおそれがあります。

使用上の お願い

本取扱説明書の表記上の規則

本書で使用している共通の画面は、Windows 2000の画面です。

[スタート]-[マイドキュメント]	:画面上の[スタート]をクリックした後、[マイドキュメント]をクリックします。（内容によっては、ダブルクリックが必要な場合もあります。）
Enter	:キーボードのEnterキーを押します。
Fn + F5	:キーボードのFnキーを押しながら、F5キーを押します。
Windows 2000	:Microsoft® Windows® 2000 Professionalについての説明です。
Windows XP	:Microsoft® Windows® XP Professionalについての説明です。
無線LANモジュール内蔵モデル	:無線LANモジュールを内蔵しているモデルのことです。
H"INモジュール内蔵モデル	:H"INモジュールを内蔵しているモデルのことです。
アプリケーション付きモデル	:Microsoft® Office XP Personalなどのアプリケーションソフトが付属しているモデルのことです。（☞33ページ）
☞『操作マニュアル』	:操作マニュアルは画面で見るマニュアルです。20ページに記載の方法で起動し、参照してください。

周辺機器等の誤った使用をすると本機の性能劣化、温度上昇、故障の原因になることがあります。各周辺機器については操作マニュアルおよび周辺機器に付属の取扱説明書を参照してください。

- お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失する恐れがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、下記および次ページのことに注意してください。

コンピューターウィルス

最新のウィルスチェックプログラム(市販)を入手し、チェックを行う。
特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。

・コンピューターを起動するとき
・データを入手したとき
　フロッピーディスクなどの外部ディスクから、またネットワーク、インターネット、電子メールなどから入手したデータ(圧縮されている場合は、圧縮復元後のファイル)を使用または実行する前にウィルスチェックを行ってください。

周辺機器を使用する場合

コンピューター本体、周辺機器、ケーブル等の故障を防ぐため、次の点に注意してください。また、本書とあわせて、使用する周辺機器の取扱説明書をよくご覧ください。

・コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。
・接続しにくい場合は無理に差し込まず、もう一度コネクターの形状、向き等を確認する。
・固定用のネジがある場合は、ネジを締める。
・ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

使用上のお願い

ハードディスクのデータ保護

- コンピューターに衝撃を与えない。
  ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。コンピューター本体の取り扱いには十分注意してください。
- Windows*1 やアプリケーションソフトの動作中およびハードディスクドライブ（ ）のランプが点灯中は、電源を切らない。
  ハードディスクのトラブルを避けるため、[スタート]-[シャットダウン]*2 を選び、操作を終了してください。
- 磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。
  ハードディスクに保存されていたデータが消失する恐れがあります。
- ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合(故障・不本意なデータ更新・消失など)に備えて定期的にバックアップをとる。
  トラブル発生時の被害を最小限に抑えるための有効な方法としておすすめします。
- データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。（☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」「SD メモリー / マルチメディアカード」）

*1 正式名称 Windows 2000 ：Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。本書では Windows または Windows 2000 と表記します。
Windows XP ：Microsoft® Windows® XP Professional operating system です。本書では Windows または Windows XP と表記します。
*2 Windows XP ：[終了オプション]（☞10 ページ「ユーザーログオン・オフの方法を変更する」）

ハードディスク保護＜企業・法人向けモデルのみ＞

ハードディスク保護を有効に設定すると、ハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際にハードディスクのデータを読み書きしようとしてもできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。ただし、この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前と全く同じ設定にしておいてください。（ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません。☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」）

ハードディスク内のリカバリー用データ

- ハードディスク内のリカバリー用データは絶対に削除しないでください。
  本機は、再インストール（コンピューターに何らかのトラブルが発生し正常に動作しなくなった場合などに行う）に必要なリカバリー用データをハードディスク内に格納しています。
  このリカバリー用データは約3 Gバイトあり、「ディスクの管理」で「HDRECOVERY」のボリュームラベルのFAT32ファイルシステム（ Windows 2000 ）または休止パーティション（ Windows XP ）として見えます。
  この領域を削除したり、ドライブ名を与えて領域内のデータを削除・変更またはデータを追加したりすると再インストールができなくなります。絶対にこれらの操作を行わないでください。万一、削除してしまった場合などはご相談窓口にご相談ください。
- リカバリー用データ（約3 Gバイト）の領域を通常のドライブとして、使用することはできません。あらかじめご了承ください。

無線 LAN で使用できるチャンネル＜無線 LAN モジュール内蔵モデルのみ＞

使用するチャンネル*3を確認してください。
アクセスポイントの中には、工場出荷時の設定として、無線LANが使用するチャンネルを12〜14チャンネルのいずれかとしているものがあります。このようなアクセスポイントをご利用になるには、アクセスポイントに付属の説明書をご覧になり、無線チャンネルを1〜11チャンネルのいずれかに設定してください。

*3 ワイヤレス通信においては、使用する周波数帯域を分割し、それぞれの帯域によって異なる通信を行うことができます。チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のことです。本機では、1〜11チャンネルを使用します。

はじめて使うとき

お買い上げになってからはじめて Windows の操作を始めるまでの操作手順を説明します。

1 付属品を確認する

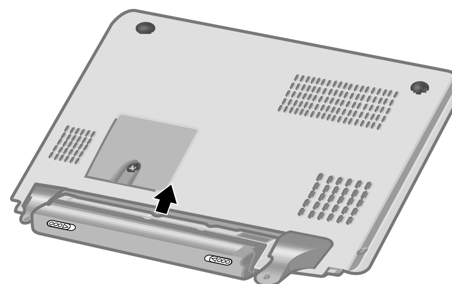
付属の『ご使用の前に』で確認してください。
万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、ご相談窓口にお確かめください。

2 ソフトウェア使用許諾書(☞ 29ページ)に同意する

コンピューター本体の包装袋のシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を必ず確認してください。

3 本体を裏返し、バッテリーパックを取り付ける

バッテリーパックの向きに注意して、矢印の方向にスライドさせ、カチッと音がするまでしっかりと取り付けます。

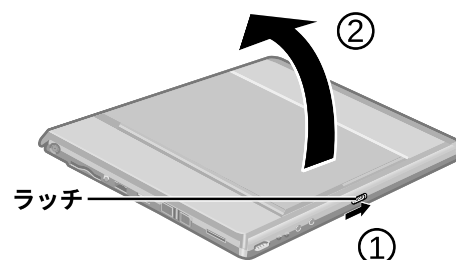


お願い

- コネクターに確実に取り付けてください。
- バッテリーパックのコネクター部に触れないようにしてください。コネクターが汚れたり損傷したりすると、接触が悪くなったり、十分に充電できなかったりすることがあります。
- ご使用にあたってバッテリーパックについての安全上のご注意（☞ 2ページ）をよくお読みください。

4 ディスプレイを開ける

①ラッチを矢印の方向にスライドする。
②ディスプレイを開ける。

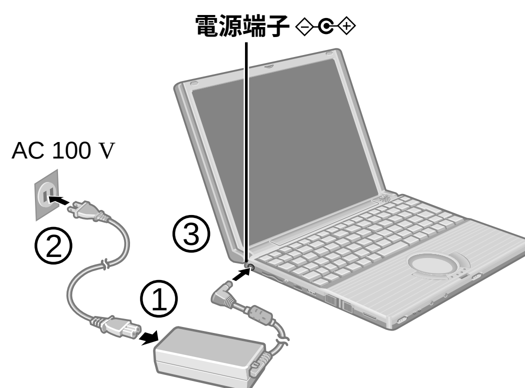


お願い

ディスプレイを必要以上（150度以上）に開けないでください。

5 ACアダプターを接続する

ACアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。
充電にかかる時間：約3時間
（コンピューターの動作状態により異なります。）



⚠注意

必ず指定の AC アダプターを使用する



指定以外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

はじめて使うとき

6 電源を入れる

電源スイッチを約 1 秒間スライドしたままにし、電源表示ランプ（①）が点灯したことを確認してから手を離します。



お願い

- 電源スイッチを4秒以上スライドしたままにしないでください。4 秒以上スライドし続けると電源が切れます。
- 電源スイッチを連続してスライドしないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで 10 秒以上あけてください。
- はじめて使うときは、本体にバッテリーパックと AC アダプター以外の周辺機器は接続しないでください。

お知らせ

お買い上げ時、省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、ディスプレイの電源が切れ、画面の表示が消えます。
この場合、フラットパッドやキーボードの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。
Windowsのセットアップ中やアプリケーションソフトのインストール中であっても、ディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。
コンピューターを放置しておくと、自動的にスタンバイ状態または休止状態になります（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）。電源スイッチをスライドすると、スタンバイ状態または休止状態になる前の状態に戻ります。

7 Windowsをセットアップする

カーソル( )の移動やボタンなどの選択（クリック）には、フラットパッドを使います。（☞ 19ページ）

Windows 2000

お願い

「Windows 2000セットアップ ウィザードの開始」画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますので、キーを押したり、フラットパッドに触れたりしないでください。

①「Windows 2000セットアップウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
②「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、「同意します」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ

「同意しません」を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

③「地域」画面で正しい地域を設定して、[次へ]を選ぶ。（工場出荷時は日本に設定されています。）
④「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前と組織名を入力して、[次へ]を選ぶ。（組織名は省略可能）
⑤「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面でコンピューター名とパスワードを入力して、[次へ]を選ぶ。

お願い

- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsを使用することができません。
- ここでは、パスワードを省略し、後で設定することもできます。後で設定する場合は、Windows起動後、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ユーザーとパスワード]で行ってください。

⑥「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻を設定して[次へ]を選ぶ。

⑦「ネットワークの設定」画面で[標準設定]を選び、[次へ]を選ぶ。
操作手順は一例です。使うネットワークシステムにより操作が異なります。詳しくは、接続サービス会社(プロバイダー)または会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
⑧「ワークグループまたはドメイン名」画面で[このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している]を選び、[次へ]を選ぶ。
コンピューターが自動的に再起動します。
⑨「ネットワーク識別ウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
⑩「このコンピュータのユーザー」画面で「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」を選び、[次へ]を選ぶ。
⑪「ネットワーク識別ウィザードの終了」画面で[完了]を選ぶ。
⑫手順⑤でパスワードを設定した場合、そのパスワードを入力して[OK]を選ぶ。

Windows XP

お願い

「Windows XPセットアップウィザードの開始」画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますので、キーを押したり、フラットパッドに触れたりしないでください。

①「Windows XPセットアップウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
②「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、「同意します」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ

「同意しません」を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

③「地域と言語のオプション」画面で正しい地域を設定して、[次へ]を選ぶ。（工場出荷時は日本に設定されています。）
④「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前と組織名を入力して、[次へ]を選ぶ。（組織名は省略可能）
⑤「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面で、コンピューター名とパスワードを入力して、[次へ]を選ぶ。（パスワードは省略可能）

お願い

- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsを使用することができません。
- ここでは、パスワードを省略し、後で設定することもできます。後で設定する場合は、Windows起動後、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]で行ってください。

⑥「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻を設定して[次へ]を選ぶ。
⑦「ネットワークの設定」画面で[標準設定]を選び、[次へ]を選ぶ。
操作手順は一例です。使うネットワークシステムにより操作が異なります。詳しくは、接続サービス会社(プロバイダー)または会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
⑧「ワークグループまたはドメイン名」画面で[このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している。]を選び、[次へ]を選ぶ。
コンピューターが自動的に再起動します。
⑨手順⑤でパスワードを設定した場合、そのパスワードを入力して→を選ぶ。

はじめて使うとき

Windows XP について Windows XP

ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する

[スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]-[ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する]で「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けている場合と付けていない場合では、起動時および終了時の操作が以下のように異なります。

「ようこそ画面を使用する」の設定	起動時の操作	終了時の操作
チェックを付けている場合	ユーザーの名前のリストが表示され、ログオンしたいユーザー名を選ぶ。	[スタート]-[終了オプション]-[電源を切る]を選ぶ。
チェックマークを付けていない場合	ユーザー名とパスワードを入力して[OK]を選ぶ。	[スタート]-[シャットダウン]-[シャットダウン]を選び、[OK]を選ぶ。

（SDカード設定で「Windowsのログオン時に使用する」を選んでいる場合は、ようこそ画面は使用できません。）

● 「ユーザーの簡易切り替えを使用する」
この設定にチェックマークを付けていると、複数のユーザーがコンピューターを所有している場合、ログオンし直さずに別のユーザーに切り換えることができます。「 ようこそ画面を表示する」にチェックマークを付けていない場合やネットワークのドメインに参加している場合などは、この機能は使えません。また、アプリケーションソフトによっては、この機能を使うとコンピューターが正しく動作しない場合があります。
本書では、チェックマークを付けている場合の手順で説明します。

スタートメニューおよびコントロールパネルの表示について

スタートメニューおよびコントロールパネルの表示を以前のバージョンのWindowsのスタイルに変更することができます。

●スタートメニュー

1 [スタート]を右クリックして[プロパティ]を選ぶ。
2 [[スタート]メニュー]を選んで「クラシック[スタート]メニュー」を選ぶ。

●コントロールパネル

[コントロールパネル]を表示し、[クラシック表示に切り替える]を選ぶ。

本書では、Windows XP のデフォルト設定の手順（クラシック表示を使用しない手順）で説明します。

パスワードリセット機能について

Windowsのログオンパスワードを忘れてしまったときのために、現在のパスワードを解除して新しくパスワードを設定するパスワードリセット機能があります。この機能を使うには、以下の手順に従ってパスワードリセットディスクを作成しておいてください。

1 [コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]を選び、「変更するアカウントを選びます」の中からログオンしているアカウントを選ぶ。
2 [関連した作業]の「パスワードを忘れないようにする」を選ぶ。以降、画面の指示に従ってパスワードリセットディスクを作成してください。
・作成したディスクは大切に保管してください。
・パスワードリセットディスクで解除できるのは、アカウントごとのログオンパスワードです。セットアップユーティリティのパスワードを解除することはできません。

新しくユーザーアカウントを作成する場合

最初に追加するユーザーアカウントは「コンピューターの管理者」のアカウントでなければなりません。
制限ユーザー（制限付きアカウントのユーザー）のユーザーアカウントを作成する場合は、まず最初に「コンピューターの管理者」のアカウントを作成してください。以降、制限ユーザーのユーザーアカウントが作成できるようになります。
また、ようこそ画面には追加したユーザーアカウントのみが表示され、「Administrator」のアカウントは表示されません。

アプリケーション付きモデルの場合

アプリケーション：
・Microsoft® Office XP PersonalまたはMicrosoft® Office XP Professional
・Microsoft® Encarta® 百科事典 2002 Basic
これらのアプリケーションはコンピューターの管理者でログオンした後、画面上のを選んで、セットアップ（インストール）することができます。自動的に設定や再起動が行われますので、そのままにしばらくお待ちください。

お知らせ

- セットアップには、約30分かかります。必ずACアダプターを接続してセットアップを実行してください。
- 画面のを選んでセットアップできるのは1回のみです。インストールしなおす場合および機能追加を行う場合は、付属のCDをお使いください。（この場合、別売りのCDドライブが必要となります。）
- セットアップ中、数回再起動します。必ず、セットアップを実行したユーザーでログオンしてください。
  また、セットアップ中に[キャンセル]を選んだり、Windowsを強制終了させたりしないでください。

●各ソフトウェアの操作方法について

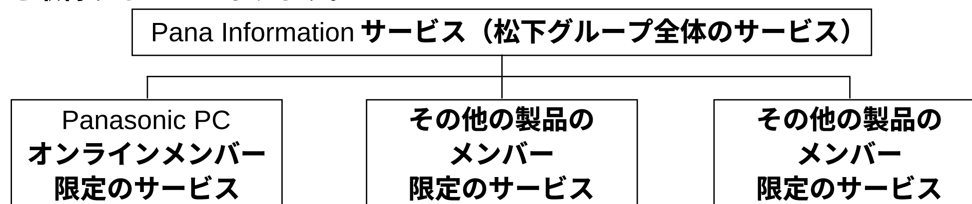
付属のソフトウェアパッケージ内の説明書をご覧ください。

オンラインメンバー登録をする

<個人向けモデル（画面に アイコンがあるモデル）のみ>

Panasonic PC **オンラインメンバーに登録すると、インターネットや電子メールを利用して、情報の提供や技術的なサポートを受けることができます。**

また、松下グループ全体のサービスを提供する「Pana Information **サービス」にも自動的に登録され、「**Pana Information ID**」を取得することになります。**



お知らせ

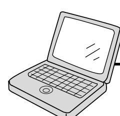
- **「**Pana Information ID**」は、松下グループ全体に共通のものです。**1**回取得すると、今後、他の製品のメンバー登録の際にこの**ID**を使用できます。**
- Panasonic PC**のオンラインメンバー登録を行わなくても、製品の保証とアフターサービスは受けることができます。**

お願い

Panasonic PC**のオンラインメンバーに登録するには電子メールアドレスが必要です。**
電子メールアドレスをお持ちでない場合は、プロバイダーに入会してメールアドレスを取得した後、Panasonic PC**オンラインメンバー登録をしてください。**
プロバイダーhi-ho**への入会をお勧めします。**（☞15**ページ**）

登録のしくみ

コンピューターを各種回線（電話回線や LAN **など）につないだ後、「**Panasonic PC **オンラインメンバー登録」ソフトを使って、画面上で登録操作を行います。**



電話回線（フリーダイヤルなので操作中の電話料金は無料）
または、LAN **を使って接続**

Panasonic PC
オンラインメンバー登録
受付センター

お知らせ

携帯電話、PHS**電話（☞『操作マニュアル』「携帯電話・**PHS**電話」）を使ってオンラインメンバー登録をする場合は、**Panasonic PC**オンラインのホームページ（**http://www.pc.panasonic.co.jp/pc/**）から行ってください。**

1 コンピューターを回線に接続する(『操作マニュアル』「モデム」「LAN機能」)

お願い

Internet Explorerを起動している場合は終了してください。Internet Explorerを起動していると、オンラインメンバー登録が正常に行えない場合があります。

2 画面の アイコンをダブルクリックする



お知らせ

- Panasonic PCオンラインメンバー登録は、1台のコンピューターに対して「コンピュータの管理者」のユーザーが1回だけ行うことができます。
- すでにPana Information IDを持っている場合、これ以降の操作手順が異なります。15ページの手順に従ってください。

3 [Pana Information IDをお持ちでない方]を選ぶ

4 [メールアドレスをお持ちの方]を選ぶ

オンラインメンバー登録にはメールアドレスが必要です。メールアドレスをお持ちでない場合は、そのまま終了し、後日メールアドレスを取得してから登録を行ってください。

5 接続方法を選ぶ

- 内蔵モデムやターミナルアダプターを使ってインターネットに接続する場合は「モデムを使ってインターネット接続する方」を選びます。
- ADSLのサービスやケーブルテレビ回線などLANを使って接続している場合は、「LANを使ってインターネット接続している方」を選びます。

6 特典などについての説明を読み、[次へ]を選ぶ

7 それぞれの規約を最後まで読み、「同意する」を選び、[次へ]を選ぶ

8 [次へ]を選ぶ

オンラインメンバー登録をする

9 登録する情報を入力する

入力する画面は全部で6画面あります。それぞれの画面で情報を入力して[次へ]を選び、最後の画面まで進んでください。

お知らせ

- ひとつ前の画面に戻るには、画面左上の[戻る]を選びます。
- 入力のしかた
  - 「ご住所」
    住所1～住所3を使って、マンション名、部屋番号まで正しく入力してください。
  - 「機種品番」「製造番号」
    保証書や内蔵されているモジュール、コンピューター底面などでご確認ください。
  - 「パスワード」
    Panasonic Informationおよびオンラインメンバー登録のサービスを利用していただくためのパスワードです。
    半角8文字の英数字でパスワードを入力してください。大文字と小文字は区別されます。
- 再入力画面が表示されたら、画面の指示に従って入力情報を修正し、再度[確認]を選んでください。

10 入力情報を確認し、[確認]を選ぶ

のついた入力情報に未入力がある場合、メッセージが表示されます。

11 「送信ボタンを押してください」と表示されたら、[OK]を選ぶ

12 [送信]を選び、入力情報を送信する

＜モデムを使ってインターネット接続をする方のみ＞

使用するモデムの種類と電話回線の種類を選び、[接続]を選ぶ

フリーダイヤルでダイヤルし、電話回線に接続します。
「セキュリティの警告」画面が表示されたら、[OK]を選んでください。

登録が終了したら、Pana Information IDとパスワードが表示されます。

13 取得したIDとパスワードをメモに取る

14 [終了]を選ぶ

お知らせ

- 電話回線の種類
  - トーンかパルスかがわからない場合は、「不明」を選んでください。まず、トーンで接続を開始し、つながらなければ、パルスで接続し直すかどうかの確認メッセージが表示されます。
    トーン：ダイヤル時にピッポッパッと音がする回線
    パルス：ダイヤル時にピッポッパッと音がしない回線
    ご使用中の電話回線の種類がわからない場合、お近くのNTTにお問い合わせください。
  - ISDN回線の場合は、「トーン」を選びます。
- 回線がつながらないときは話し中の場合（回線が混雑しているとき）があります。少し待ってから操作をし直してください。
- IDとパスワードはオンラインメンバーのサービスを受けるために必要です。必ずメモしておいてください。また、この情報は[スタート]-[マイドキュメント]に「PanaInfo.txt」というファイル名で保存されています。
  - IDを忘れた場合、再取得が必要となりますので、ご注意ください。
  - 他人に悪用されないようIDとパスワードの管理には十分注意してください。

● Pana Information ID を持っている場合

13ページの手順*1*、*2*の後、下記手順に従って操作を行ってください。

① [Pana Information IDをお持ちの方]を選ぶ。
② 接続方法を選ぶ。
③ <モデムを使ってインターネット接続をする方のみ>
使用するモデムと電話回線の種類を選び、[接続]を選ぶ。
フリーダイヤルでダイヤルし、電話回線に接続します。
「セキュリティの警告」画面が表示されたら、[OK]を選んでください。
④ Pana Information IDとパスワードを入力し、[ログイン]を選ぶ。
⑤ [基本情報確認]画面で内容を確認し、必要に応じて変更した後、[次へ]を選ぶ。

以降、画面の指示と13ページの手順*7*以降を参考にしながら、操作を行ってください。

hi-hoに入会する（hi-hoサインアップ）

プロバイダーPanasonic hi-hoに電話回線を通して接続し、簡単に入会できます。フリーダイヤルで接続するため、入会手続き中の電話料金はかかりません。入会手続き終了後、「おまかせ接続設定」によりインターネット接続設定やメールの設定を自動で行えます。自分で複雑な設定をする必要がなく便利です。

準備するもの

- クレジットカード
  加入手続きの途中でナンバーと有効期限を入力していただく必要があります。使用できるクレジットカードについては付属のパンフレットをご覧ください。
- 希望するメールアカウントを決めておく
  メールアカウントは、電子メールをやり取りするときの利用者を示します。
  希望のメールアカウントが既に使われている場合もありますので、4～5個ぐらい用意しておきましょう。

お願い

hi-hoへの入会にはアナログ電話回線、ISDN回線をご使用ください。携帯電話、PHS電話やADSL、ケーブルテレビ回線などLANを使っての入会はできません。

1 コンピューターを回線に接続する（☞『操作マニュアル』「モデム」）

2 [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic hi-ho]-[hi-hoサインアップ]を選ぶ

以降、画面の指示に従ってください。



お願い

登録内容は必ずメモしてください。
接続ID、パスワード、メールアカウントなどの登録内容は忘れないように、必ずメモしておいてください。

- メールパスワードは、電子メール操作時に入力する必要がありますので特に気をつけてメモしてください。
  （その他の登録情報は、「おまかせ接続設定」で自動でコンピューターに設定されます。）
- メールアカウントが使えるようになるまで約2時間かかります。
- ご入会後、約10日後、正式な会員証や登録内容などの書類、説明書が郵送されます。大切に保管してください。
  入会時にメモした登録情報と郵送された書類に違いがないか確認してください。サーバーなどの管理のため、まれに「接続パスワード」などが変更されていることがあります。そのような場合は、[スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[インターネットオプション]で設定を変更してください。

操作を始める／終わる

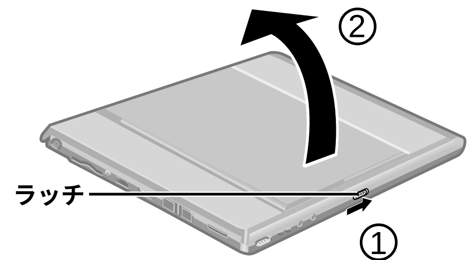
操作を始める

1 ディスプレイを開ける

①ラッチを矢印の方向にスライドする。
②ディスプレイを開ける。

お願い

ディスプレイを必要以上（150度以上）に開けないでください。



2 電源を入れる

電源スイッチを約1秒間スライドしたままにし、電源表示ランプ（⏻）が点灯したことを確認してから手を離します。

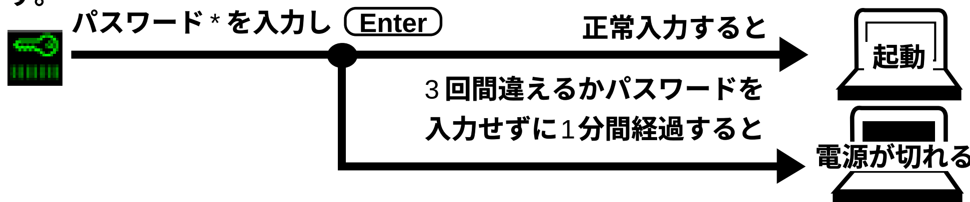


お願い

- 起動中は、ポインターが砂時計（ ）から通常のもの（ ）に戻り、ハードディスク状態表示ランプ（ ）が消えるまで、以下のことはしないでください。
  - ・ACアダプターを抜き差しする。
  - ・電源スイッチを操作する。
  - ・キーボード、フラットパッド（外部マウス）に触れる。
  - ・ディスプレイを閉じる。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。
- 電源を入れても本体が起動しない場合は、CPUの温度が上がっている場合があります。CPUの温度が上がっていると、CPUの加熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。しばらくしてから再度電源を入れてください。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

● 画面に が表示されたら . . .

本機のセキュリティのため、パスワード（☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」）が設定されています。



＊セットアップユーティリティで設定されているパスワードです。（Windowsのパスワードではありません。）

● 操作していたアプリケーションソフトやファイルがすぐに表示されたら . . .

前回操作を終えたとき表示していた画面です。「スタンバイ」または「休止状態」と呼ばれる機能を使って操作を終わると、電源を入れたとき、すぐに操作を再開することができます。（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）

3 Windows 2000

パスワードを入力する

ハードディスク状態表示ランプ（）が消えて10秒以上たってから、ユーザー名とパスワードを入力して[OK]を選びます。正しいユーザー名とパスワードを入力するまで操作できません。

Windows XP

ユーザーを選ぶ（複数のユーザーが設定されている場合のみ）

ハードディスク状態表示ランプ（）が消えて10秒以上たってから、ユーザーを選びます。
ここでの操作は、「ようこそ画面を使用する」の設定により異なります。（☞10 ページ「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」）

お知らせ

以下の場合は自動ログオンとなり、ユーザーを選ぶ画面は表示されません。
- ユーザーが一人だけ作成されており、パスワードが設定されていない。
- Guest アカウントが無効。
- 「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けている。

4 操作をする

各種アプリケーションソフトなどを起動し、操作を始めてください。

お知らせ

- お買い上げ時、省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、ディスプレイの電源が切れ、画面の表示が消えます。
  この場合、フラットパッド、キーボードの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。
  Windowsのセットアップ中やアプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（ Ctrl や Shift など）を押してください。
  コンピューターを放置しておくと、自動的にスタンバイ状態または休止状態になります（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）。電源スイッチをスライドすると、スタンバイ状態または休止状態になる前の状態に戻ります。
- SDメモリーカードのセキュリティ機能で「Windowsのログオンに使用する」ように設定している場合
  Windowsへのログオン時やスクリーンセーバーからの復帰時、SDメモリーカード状態表示ランプが点滅していたら、SDメモリーカードを抜かず、キーボードでパスワードを入力してください。
  アプリケーションソフトなどがSDメモリーカードにアクセスしている場合があります。
  以下の場合は、SDメモリーカードを抜いておくことをお勧めします。
  ・ ログオフした後
  ・ スタンバイまたは休止状態に入った後
  ・ スクリーンセーバーに入る可能性があるとき

Windows 2000
- 新規デバイスをインストールしたときや[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加　と削除]でWindowsのコンポーネントを追加したときに、CDを挿入するメッセージが表示される場合があります。[OK]を選び、コピー元の[D:]または[A:]の代わりに[c:\winnt\cdimage]と入力して[OK]を選んでください。
  （例：[D:\i386]の代わりに[c:\winnt\cdimage\i386]）

操作の方法

操作を始める／終わる

操作を終わる（電源を切る）

スタンバイまたは休止状態機能（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）を使わず操作を終わります。

お知らせ

コンピューター本体にACアダプターを接続していないときはコンセント側を抜いておいてください。（ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約1.5 Wの電力が消費されます。）

1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する

2 終了画面を表示する

Windows 2000 [スタート]-[シャットダウン]を選ぶ。

Windows XP [スタート]-[終了オプション]を選ぶ。（☞10ページ「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」）

お願い

Windows XP

「ほかの人がこのコンピュータにログオンしています。Windows をシャットダウンするとその人のデータが失われる可能性があります」というメッセージが表示された場合は、いったん[いいえ]を選び、すべてのユーザーのログオフを行ってから、終了操作をし直してください。

お知らせ

キーボードを使って終了画面を表示するには

[⊞] を押し、[シャットダウン]*を選びます。

* Windows XP：[終了オプション]（☞10 ページ「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」）

3 終了を確認し、電源を切る

Windows 2000 [シャットダウン]を選び、[OK]を選ぶ。

Windows XP [電源を切る]を選ぶ。

自動的に電源が切れます。

●電源を切らずに、起動しなおしたい（再起動）

Windows 2000 [再起動]を選んで、[OK]を選ぶ。

Windows XP [再起動]を選ぶ。

お願い

終了処理が行われている間は、以下のことをしないでください。

・ACアダプターを抜き差しする。
・電源スイッチを操作する。
・キーボード、フラットパッド（外部マウス）に触れる。
・ディスプレイを閉じる。

お知らせ

次に電源を入れるとき、すぐに操作を再開したい

「スタンバイ」と「休止状態」と呼ばれる機能があります。（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）

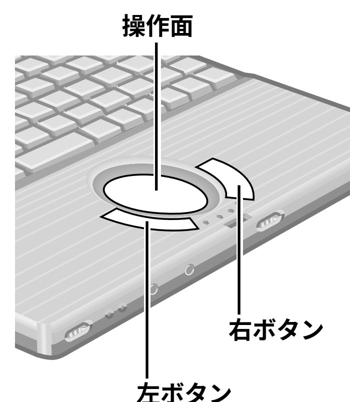
4 ラッチ部分を持ってディスプレイを閉じる

フラットパッドを使う（基本操作）

マウスと同じようにカーソルを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。
詳細については、『操作マニュアル』の「フラットパッドの操作」を参照してください。

お願い
フラットパッドは、指で操作するように設計されています。指以外で操作しないでください。

機能	フラットパッドの操作
カーソルを動かす	指先を操作面で動かします。
タップ / クリック	タップ　または　クリック
ダブルタップ / ダブルクリック	ダブルタップ　または　ダブルクリック
ドラッグ	1 回タップしてから、すばやく指先で操作面をこする。　または　ボタンを押しながら、指を移動させる。



操作の方法

フラットパッドの取り扱い

- フラットパッドは、セットアップユーティリティの「メイン」メニューの「フラットパッド」が「有効」に設定されているときのみ動作します。（工場出荷時は「有効」に設定されています。）
- 操作面にものを置いたり、つめなど先のとがったもの、固いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので押さえたりしないでください。
- 油などでフラットパッドを汚さないでください。カーソルが正常に動かなくなります。
- **フラットパッドに汚れが付着した場合：**
  ガーゼなどの乾いた柔らかい布か水で薄めた台所用洗剤（中性）を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。ベンジンやシンナー、消毒用アルコールは使わないでください。
  中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

操作マニュアル

操作マニュアルは画面で見ることができます。プリンターが接続されていれば、印刷することもできます。
周辺機器の拡張方法やセットアップユーティリティなど、知っていると便利な情報、本機をより活用するための機能について説明しています。（主な記載内容については、本書の表紙をご覧ください。）

操作マニュアルを起動する

1 電源を入れる

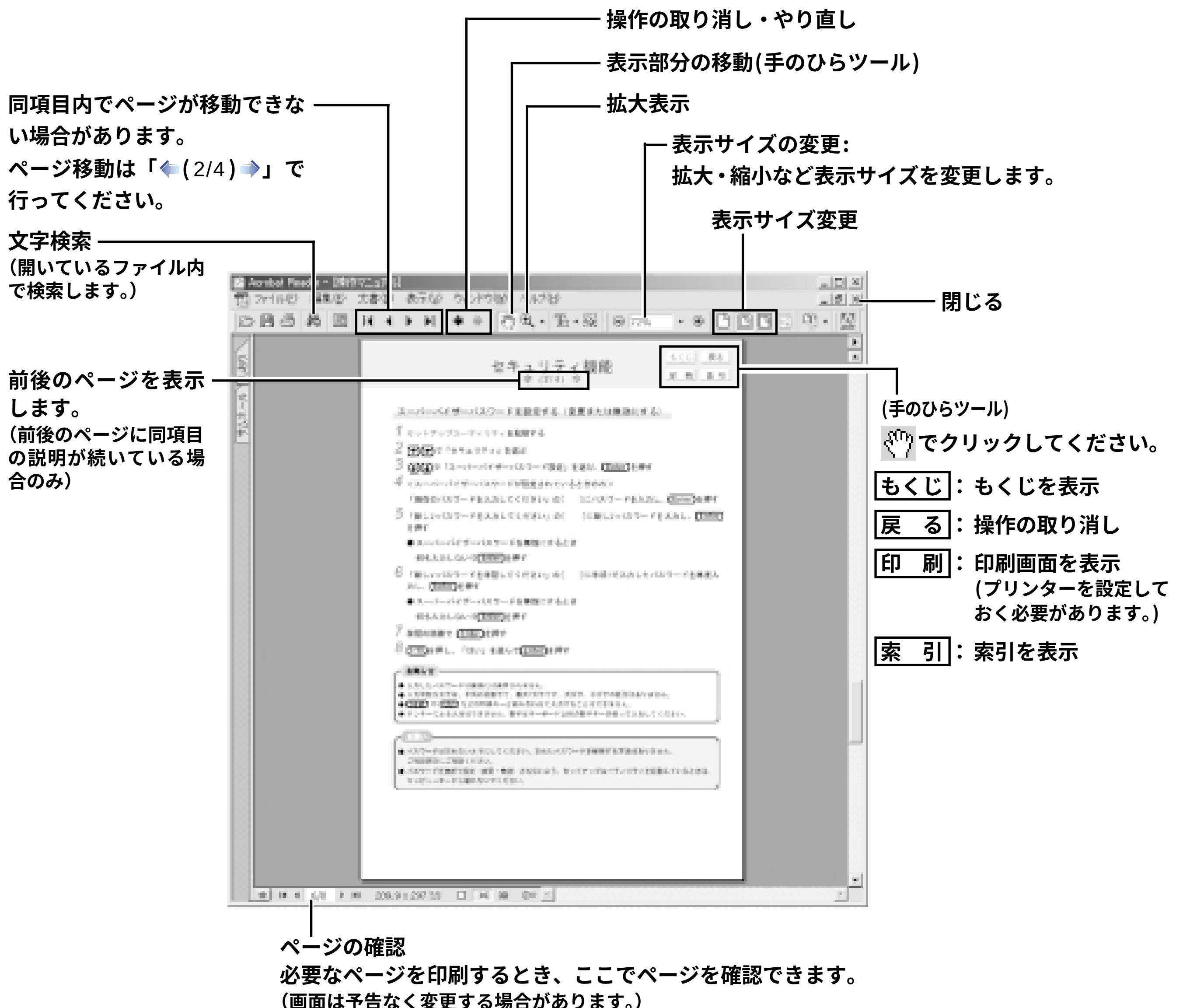
2 [スタート]-[プログラム]*-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[操作マニュアル]を選ぶ

はじめて操作マニュアルを起動したときは、Acrobat® Readerの「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。内容を確認の上、[同意する]を選んでください。

* Windows XP：[すべてのプログラム]

3 もくじの項目にカーソルを移動し、カーソルが 👆 に変わったらクリックする

該当ページが表示されます。



お知らせ

- 表示サイズによっては、イラストが見えにくい場合があります。この場合は表示を拡大してください。
- Acrobat® Readerの下部がタスクバーにかくれて見えないときは、ウィンドウを最大表示にしてください。
- プリンターをお持ちの方は、ページ右上の 印刷 をクリックすると印刷設定画面が表示されますので、必要なページを指定して印刷することができます。ページは、画面左下の「ページの確認」部分で確認してください。ただし、プリンターによっては、イラストや画面サンプルがきれいに印刷できないことがあります。

保管・持ち運び・お手入れ

使用・保管

- 適した場所
  - 平らで落下のおそれがない場所
    コンピューターを立てて置かないでください。倒れると、本体に衝撃が加わり誤動作や故障の原因になります。
  - 使用時の温度：5 ℃ ～ 35 ℃
    湿度：30 %RH ～ 80 %RH
    （結露なきこと）
    保管時の温度：-20 ℃ ～ 60 ℃
    湿度：30 %RH ～ 90 %RH
    （結露なきこと）
- 磁気を発生するもの(磁石、磁気ブレスレットなど)の近くには置かないでください。

持ち運ぶとき

- 落としたり、机の角など固い物にぶつけないよう注意してください。
- 電源を切ってから持ち運んでください。
- 外部装置やケーブル、本体から突き出たPCカード（右図）、SDメモリーカードやマルチメディアカードをすべて取り外してください。
- 予備のバッテリーパック(別売り)を用意しておくことをおすすめします。
- ディスプレイを開けたまま持ち運んだり、ディスプレイを持って持ち運ばないでください。ディスプレイを閉じるときは、ラッチ部分（☞ 7ページ）がきちんとかみ合っていることを確認してください。
- 航空機で持ち運ぶときは、破損等を避けるためコンピューターやディスクなどは、手荷物としてお持ちください。また航空機内の使用は、航空会社の指示に従ってください。
- データのバックアップをとり、バックアップしたデータも必要に応じて一緒に持ち運ぶことをおすすめします。

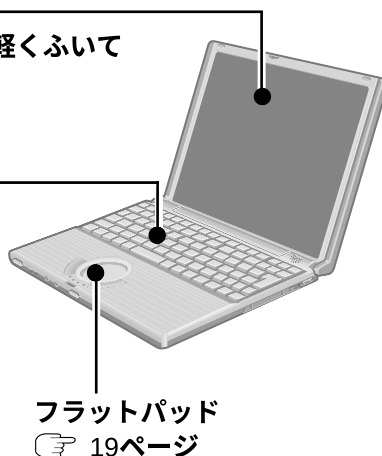


操作の方法

お手入れ

ディスプレイ：
ガーゼなどの乾いたやわらかい布で軽くふいてください。

ディスプレイ以外の部分：
水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸したやわらかい布をかたくしぼってやさしく汚れをふき取ってください。
中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。



フラットパッド
☞ 19ページ

お願い

- ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
- 水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

エラーコードが表示されたら

ここでは、ハードウェアの不良が発生した場合など、起動時に表示されるエラーコードとその原因・対処について説明します。

エラーコード・メッセージ	原 因・対 処
0211 キーボードエラーです。	外部キーボードが動作していません。外部キーボードを取り外してください。
0251 システムCMOSのチェックサムが正しくありません。－デフォルト値が設定されました。	CMOSデータがアプリケーションソフトによって壊されたか、変更されました。 ● セットアップユーティリティでいったんデフォルト設定にした後、再度、適切な値に設定し直してください。 ● それでもエラーになる場合は、CMOSバックアップバッテリーが消耗している可能性がありますので、ご相談窓口にご相談ください。
0271 Check date and time settings	システムの日付と時刻が正しくありません。セットアップユーティリティで日付と時刻を正しく設定してください。
0280 起動を3回失敗しました。－デフォルト値を使用して起動します。	電源を入れてからＯＳが起動するまでに、3回連続してシステムがシャットダウンされました。セットアップユーティリティでデフォルト設定にし、日付・時刻を合わせてください。正しくOSを起動すれば表示されることはありません。

下記のエラーコードが表示された場合は、そのメッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。

エラーコード・メッセージ	原 因
0200 ハードディスクエラーです。	ハードディスクドライブまたはシステムボードの故障です。
0212 キーボードコントローラエラーです。	システムボードの故障です。
0230 システムRAMエラー。オフセットアドレス：nnnn 0231 シャドウRAMエラー。オフセットアドレス：nnnn 0232 拡張RAMエラー。オフセットアドレス：nnnn	メモリーの故障です。
0250 システムのバッテリがありません。－バッテリを交換して、コンピュータを再起動して下さい。	CMOSバックアップバッテリーが消耗しています。 バッテリーの交換が必要です。ご相談窓口にご相談ください。
0260 システムタイマーエラーです。	システムボードの故障です。
0270 リアルタイムクロックエラーです。	システムボードの故障です。
02D0 システムキャッシュエラーです。－キャッシュは使用できません。	CPUの故障です。
02F5 DMAのテストが異常終了しました。	システムボードの故障です。

困ったときのQ&A

本機がうまく動かない場合にお読みください。操作マニュアルでも、さらに詳しい内容を紹介しています。また、アプリケーションソフトによる原因も考えられますので、各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。

● 電源を入れたとき

電源表示ランプが点灯しない	● ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが、正しく取り付けられていますか？ ● ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。
が表示された	パスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
システム起動エラーが表示された	☞ 22ページの「エラーコードが表示されたら」を参照してください。
Windows の起動および動作が極端に遅い	セットアップユーティリティを起動してください。 (☞『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」) F9 を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻したあと、再度各種設定をしてください。 （動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。）
日付と時刻が正しく表示されない	● 次の項目を使って訂正してください。 Windows 2000 [コントロールパネル]-[日付と時刻] Windows XP [コントロールパネル]-[日付、時刻、地域と言語のオプション]-[日付と時刻] ● 正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合､日付と時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）の残量がない可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。 ● LAN（ネットワーク）に接続している場合は、サーバーの日付／時刻を確認してください。 ● 西暦2100年以降は、日付と時刻が正しく認識されません。
スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき、が表示されない	セットアップユーティリティでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定していても、スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはセットアップユーティリティで設定したパスワード入力は要求されません。代わりに、Windowsのパスワード入力が必要となるように設定することができます。 Windows 2000 [コントロールパネル]-[ユーザーとパスワード]でユーザーのパスワードを設定し、[コントロールパネル]-[電源オプション]-[詳細]の「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。 Windows XP [コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]で変更するアカウントを選び、パスワードを設定し、[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]の「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。
「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key.」* と表示される	● システムを起動できないフロッピーディスクが、フロッピーディスクドライブにセットされたままになっていることを意味します。フロッピーディスクを取り出してから、何かキーを押してください。 ● フロッピーディスクがセットされていないのに左記メッセージが表示される場合、ハードディスクに何らかの問題が発生していることが考えられます。ご相談窓口にご相談ください。

* Windows XP ：「Remove disks or other
Press any key to restart」

困った時は

困ったときのQ&A

● 電源を入れたとき（つづき）

Windows 2000 スタートメニューの一部しか表示されない	● 簡易メニュー表示機能（よく使用するメニューを優先的に表示し、その他のメニューを隠す機能）が働いています。 ※を選ぶと、その下にあるメニューが表示されます。 ● 常にすべてのメニューが表示されるようにするには、[スタート]-[設定]-[タスクバーと[スタート]メニュー]を選び、「頻繁に利用するメニューを優先的に表示」のチェックマークを外してください。
Windows 2000 Administrator のパスワードを忘れた	再インストールした後、Windowsをセットアップしてパスワードを設定し直してください。
その他の問題が起きる場合	● セットアップユーティリティを起動し、F9 を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻してください。 ● 周辺機器を取り外して試してください。 ● [マイコンピュータ]*の[ローカルディスク(C:)]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選び、[ツール]-[チェックする]を選んでください。 * Windows XP ：[スタート]-[マイコンピュータ] ● Windows 2000 起動時、「Windows を起動しています」が表示されているときに F8 を押し、セーフモードで起動してエラーの内容を確認してください。 Windows XP 起動時、F8 を押し、セーフモードで起動してエラーの内容を確認してください。

● 終了時

Windows が終了できない	● プロバイダーへの通信は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windows が終了しなかったり、再起動できなかったりします。 通信の設定については、プロバイダーから提供される説明書を参照してください。 ● LAN（☞『操作マニュアル』「LAN機能」）は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。 ● LANの設定については、接続サービス会社(プロバイダー)や会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

● バッテリー状態表示ランプ

赤色に点灯している 使用中にビープ音が鳴り始めた	バッテリーの残量が少なくなっています。すぐにデータを保存し、終了してください。ACアダプターを接続するか、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
赤色に点滅している	● すぐにデータを保存し終了した後、ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。 ● それでも赤色に点滅する場合は、バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。ご相談窓口にご相談ください。
オレンジ色に点滅している	バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、充電できません。いったんACアダプターを外し、温度が充電可能な範囲内になるのを待ってから接続してください。

● 画面表示

電源を入れたあと、画面に何も表示されない	● 外部ディスプレイの画面に表示されない場合： ・外部ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？ ・外部ディスプレイの電源は入っていますか？ ・外部ディスプレイの設定は正しいですか？ ・以下の項目で「CRT」を「オン」に設定していますか？ Windows 2000 [コントロールパネル]-[画面]-[設定]-[詳細]-[Lynx3DM+] Windows XP [コントロールパネル]-[デスクトップの表示とテーマ]-[画面]-[設定]-[詳細設定]-[Lynx3DM+] ● Fn ＋ F3で表示先を切り換えてください。 ● 外部ディスプレイだけに表示してスタンバイまたは休止状態機能を使って操作を終わった場合、リジュームしたときに外部ディスプレイが接続されていないと、内部LCDには表示されないことがあります。この場合は、外部ディスプレイを接続するか、Fn + F3 を押してください。
画面が消えた、または画面に何も表示されない	● 省電力機能によって､ディスプレイの表示が消えることがあります。いずれかのキーを押すと元に戻ります。その際、選択に使うキー（Enter、Space、Esc 、Y 、N や数字キーなど）は使わず、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。 ● 省電力機能によって、スタンバイ（電源表示ランプが緑色点滅する）・休止状態（電源表示ランプ消灯）に入ることがあります。 この場合、電源スイッチをスライドすると元に戻ります。 ● 表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。 Fn ＋ F3 を押してディスプレイの表示先を切り換えてみてください。 ● Fn ＋ F3 を繰り返し連続して押しませんでしたか？ Fn ＋ F3 を続けて押す場合は、画面の表示先が完全に切り換わったことを確認してから押してください。
残像が現れる	イメージが画面に焼き付き、残像となることがありますが、異常ではありません。別の画面が表示されると残像は消えます。
マウスカーソルが動かない	● 外部マウスを使用している場合は、外部マウスを正しく接続しなおしてください。 ● キーボードを操作してコンピューターを再起動してください。 キーボードを使って再起動するときは、⊞を押し、[シャットダウン]*を選びます。 * Windows XP ：[終了オプション] ● キーボードで操作できない場合は、次ページの「ハングアップした」をご覧ください。
画面に緑、赤、青のドットが残るまたは正しい色が表示されないドットがある	カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（赤・青・緑色）するものがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。（有効画素：99.998 %以上、画素欠け等：0.002 %以下）
画面が乱れる	解像度・色数を変更すると画面が乱れることがあります。コンピューターを再起動してください。
外部ディスプレイに正しく表示されない	外部ディスプレイが省電力機能に対応していない場合､省電力のためにディスプレイの電源を切る状態に入ると、外部ディスプレイに正しく表示されなくなります。この場合は、外部ディスプレイの電源を切ってください
外部ディスプレイと内部LCDの両方に表示しているとき、外部ディスプレイ側に正しく表示されない	Fn ＋ F3 で表示先を切り換えてみてください。

困ったときのQ&A

● 画面表示（つづき）

スクリーンセーバーを設定していると、リジューム時にエラーが発生する	スクリーンセーバーが起動しているときにコンピューターが自動的にスタンバイ状態に入ると、エラーが起こることがあります。その場合はスクリーンセーバーを停止するか、スクリーンセーバーの種類を変更してください。
Windows XP タスクバーのアイコンが隠れて見えない	タスクバーを右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選んで、[タスクバー]の[アクティブでないインジケータを隠す]のチェックマークを外してください。

● 操作マニュアル

操作マニュアルを表示できない	Acrobat Readerをアンインストールしませんでしたか？ アンインストールした場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]で、「c:\util\reader\ar500jpn.exe」を起動し、画面に従ってインストールしてください。その際、インストール先のフォルダーを変更しないでください。変更すると、スタートメニューから操作マニュアルなどを起動できません。

● アプリケーション

ハングアップした	● Ctrl + Alt + Del を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 電源スイッチを4秒間スライドして電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]*でそのアプリケーションソフトを削除してから、アプリケーションソフトを再度インストールしてください。 * Windows XP ：[プログラムの追加と削除]

困った時は

再インストールのしかた(ハードディスク リカバリー)

再インストールの前に以下の点を確認する

- 必要なデータはバックアップをとっておいてください。
- 不要な周辺機器は、すべて取り外してください。
- 必ず、ACアダプターを装着してください。
- ハードディスクを圧縮して使用している場合は、解除してください。

再インストールする

お願い

- 再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
- 再インストールを途中でキャンセルした場合、最初からやり直してください。

1 コンピューターの電源を入れ、「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに、 F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

2 セットアップユーティリティの現在の設定内容を紙などにメモしておいてから、F9 を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。

3 「終了」メニューの「設定を保存する」を選び、Enter を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。

4 「ハードディスク リカバリー」を選び、Enter を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。

お知らせ

以下の場合は、ご相談窓口にご相談ください。ハードディスク内の再インストール用領域が削除されていたり、再インストールに必要なファイルが壊れていたりする場合があります。
・「ハードディスク　リカバリー」が表示されない
・リカバリー用ファイルに不整合がありますというメッセージが表示される

5 再インストールを実行するための条件が表示されたら、同意する場合は 1 を押し、同意しない場合は 2 を押す。
1 を押すとメニューが表示されます。
2 を押すと再インストールが終了します。

6 メニューから、どの操作を実行するかを選ぶ。
・ハードディスクの内容をパーティション設定も含めて、すべて工場出荷の状態にするには：
[1.ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。]を選ぶ。
・最初のパーティション(通常はCドライブ)を工場出荷の状態にするには：
[2.最初のパーティションにWindowsを再インストールする]を選ぶ。

この場合、最初のパーティションのサイズは約4Gバイト以上必要です。小さなパーティションには再インストールできません。

困った時は

再インストールのしかた(ハードディスク リカバリー)

7 **確認のメッセージが表示されたら (Y) を押す。**
再インストールが始まります。

8 **コピーなどが終了して「リカバリーを終了しました」というメッセージが表示されたら、メッセージに従って (Ctrl) + (Alt) + (Del) を押してコンピューターを再起動する。**

9 Windows**のセットアップを行う。**（☞8, 9ページ）

アプリケーション付きモデルについて

再インストールした場合、付属の Microsoft **社製アプリケーション**（Microsoft® Office XP Personal、Microsoft® Office XP Professional、Microsoft® Encarta® **百科事典** 2002 Basic）**を再度インストールする必要があります。**
ソフトウェアパッケージに付属の CD **を使ってインストールしてください。（別売りの** CD **ドライブが必要です。）**

● Microsoft® Office XP Personal または Microsoft® Office XP Professional のライセンス認証について

Microsoft® Office XP Personal **または** Microsoft® Office XP Professional **を再インストールした場合、ライセンス認証が必要になります。ライセンス認証を行わずに使い続けた場合、ある一定の使用回数を超えると各ソフトウェアに使用制限が発生します。必ず、認証を受けるようにしてください。**

＜ライセンス認証の操作の流れ＞

Microsoft® Office XP Personal **または** Microsoft® Office XP Professional **を再インストールした場合、**Microsoft® Office XP Personal **または** Microsoft® Office XP Professional **に含まれているいずれかのソフトウェアを起動すると認証ウィザードが起動します。付属のソフトウェアパッケージ内の説明書をご覧のうえ、操作を行ってください。**

- **認証方法として、インターネットによる認証と電話による認証の2とおりがあります。インターネットによる認証を受けるには、通信ができる環境が整っている必要があります。**
- **ライセンス認証についてご不明な点がありましたら、下記までご連絡ください。**

ライセンス認証専用窓口
0120-801-734（24 **時間受付**）

（2002年2月1日現在）

困った時は

ソフトウェア使用許諾書

第１条　権利
お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属 CD-ROM およびマニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第２条　第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第３条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第４条　使用コンピューター
本ソフトウェアは、本コンピューター1台での使用とし、他のコンピューターで使用することはできません。

第５条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客様に対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

第６条　アフターサービス
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第７条　免責
本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第６条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店などはその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

各部の名称と働き

キーボード

☞『操作マニュアル』「キーの組み合わせによる操作」

フラットパッド

☞ 19 ページ

オーディオ出力端子

市販のオーディオ用ヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。ヘッドホンまたはスピーカーを接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。

状態表示ランプ

☞『操作マニュアル』「状態表示ランプ」

電源表示ランプ

電源オン時：点灯
スタンバイ時：点滅
電源オフ時と休止状態時：消灯

バッテリー状態表示ランプ

☞『操作マニュアル』「バッテリーパック」

電源スイッチ

マイク入力端子

コンデンサー型モノラルマイクロホンの 2 極プラグタイプと 3 極プラグタイプを使用できます。それ以外を使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。

スピーカー

- Windows 2000
  音量は、タスクバー上の 🔈 を選んで調整してください。
  Windows XP
  音量は、[コントロールパネル] - [サウンド、音声、およびオーディオデバイス] - [サウンドとオーディオデバイス] - [音量]を選んで調整してください。
  音量は、キーの組み合わせで調整することもできます。（Fn + F5 または F6）
- スピーカーのオン/オフ：Fn + F4

ディスプレイ

USB コネクター

☞『操作マニュアル』「USB 機器」

PC カードスロット

☞『操作マニュアル』「PC カード」

状態表示ランプ

☞『操作マニュアル』「状態表示ランプ」

Caps Lock A・NumLk 1・ScrLk ⇅
機能時：点灯

ハードディスク状態表示ランプ

HDD 動作中：点灯

パネルスイッチ

ディスプレイを閉じてラッチがロック状態になると、以下の項目の設定に従い、「スタンバイ状態」に入るなどの動作をします。

Windows 2000：[コントロールパネル] - [電源オプション] - [詳細]の「ポータブルコンピュータを閉じたとき」

Windows XP：[コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定]の「ポータブルコンピュータを閉じたとき」

☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」「省電力機能」

- 操作を再開するときは、ディスプレイを開けてください。
  ディスプレイを閉じる以外の方法でスタンバイまたは休止状態にした場合はディスプレイを開け、電源スイッチをスライドしてください。
- Windows 2000
  「シャットダウン」に設定しているときは、ディスプレイを開け、電源スイッチをスライドする必要があります。

無線LAN用アンテナ部
＜無線LANモジュール内蔵モデルのみ＞

『操作マニュアル』「無線LAN機能」

H" IN用アンテナ部
＜H" INモジュール内蔵モデルのみ＞

『操作マニュアル』「H" INモジュール」

SD メモリーカードスロット

SD メモリーカード状態表示ランプ

SD メモリーカードアクセス中：点灯

『操作マニュアル』
「SD メモリー / マルチメディアカード」

電源端子 DC IN 16V

外部ディスプレイコネクター

外部ディスプレイを接続するには、別売りの VGA 変換ケーブルが必要です。

『操作マニュアル』「外部ディスプレイ」

USB コネクター

『操作マニュアル』「USB 機器」

ワイヤレスコムポート

『操作マニュアル』
「携帯電話・PHS 電話」

モデムコネクター

『操作マニュアル』「モデム」

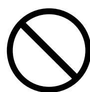
LAN コネクター

『操作マニュアル』「LAN 機能」

通風孔

⚠注意

通風孔をふさがない


禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

バッテリーパック

『操作マニュアル』「バッテリーパック」

RAMモジュールスロット

『操作マニュアル』「RAMモジュール」

通風孔

仕様 日本国内専用

● 本体仕様

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

機種名			CF-R1RCXR CF-R1RCXP CF-R1RCHXP CF-R1RCQXP CF-R1RC2S CF-R1RCXS	CF-R1RWXP CF-R1RWHXP CF-R1RWQXP CF-R1RW2S CF-R1RWXS	CF-R1RT2S*1
CPU			Intel® SpeedStep™ テクノロジ対応　超低電圧版 モバイル Pentium® IIIプロセッサ-M 700 MHz		
メモリー	**キャッシュ**	L1	32 Kバイト		
		L2	512 Kバイト		
搭載メモリー（拡張可能メモリー）			128 Mバイト（最大256 Mバイト）		
ビデオメモリー			4 Mバイト		
LCD	**タイプ**		10.4型のTFTカラー液晶		
	解像度（表示色数）		1024 × 768ドット（256色/65536色/1600万色*3）		
外部ディスプレイ			1280×1024/1024×768/800×600/640×480ドット （4種のうちいずれの解像度でも256色/65536色/1600万色）		
ハードディスクドライブ			約20 Gバイト*2（約3 Gバイトはリカバリー用データ領域として使用）		
キーボード			OADG準拠、Windowsキーボード（85キー）		
スロット	PCカードスロット		Type I(Type II)×1スロット内蔵		
			許容電流 3.3 V：400 mA、5 V：400 mA		
	増設RAM**スロット**		1スロット（144ピン、マイクロ DIMM、3.3 V対応、SDRAM、100 MHz*4）		
	SD**メモリーカードスロット**		SDメモリーカード/マルチメディアカード		
インターフェース	**外部ディスプレイコネクター**		専用コネクター（16ピン）*5		
	マイク入力端子		モノラルミニジャックM3（コンデンサーマイクを使用のこと）		
	オーディオ出力端子		ステレオミニジャックM3		
	USB**コネクター**		Universal Serial Bus準拠4 ピン×2		
	モデムコネクター		本体内蔵（RJ-11）　DATA：56 kbps（V.90 & K56flex）FAX：14.4 kbps		
	LAN**コネクター**		本体内蔵（RJ-45）　100BASE-TX/10BASE-T		
	ワイヤレスコムポート		18ピン（携帯電話/PHS電話接続用）		
	無線LAN **モジュール**		—	内蔵	—
	H"IN**モジュール**		—	—	内蔵
ポインティングデバイス			フラットパッド		
サウンド機能			PCM音源（16ビットステレオ）、モノラルスピーカー		
消費電力*6			最大 約40 W、(社)電子情報技術産業協会 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン実行計画書に基づく定格入力電力値：24 W		
外形寸法（幅×高さ×奥行）			240 mm×23.5(前部)/37.2(後部) mm×183 mm （突起部を除く）		
質量			約960 g	約990 g	
使用環境条件			温度：5 °C〜35 °C 湿度：30 %RH〜80 %RH（結露なきこと）		

*1 TWO LINK DATA対応モデル。
*2 1 Gバイト=10^9 バイトで端数を省略しています。
*3 ディザリング機能を使用して約1600万色表示を実現しています。
*4 RAMモジュールを増設する際、100 MHz対応であることをご確認ください。
*5 別売りのVGA変換ケーブルが必要です。
*6 電源が切れていてバッテリーが満充電や充電していないときは約1.5 W。
「LAN Wake Up機能」が「有効」に設定されているときは約3.0 W。

● 付属品仕様

AC**アダプター**	**入力**	AC 100 V 〜 240 V*7、50 Hz/60 Hz
	出力	DC 16 V、2.5 A
	電源コード	125 V 対応
バッテリーパック	**仕様**	7.4 V(Li-ion)、4.4 Ah
	駆動時間	CF-R1RCシリーズ：約6.0 時間（JEITA測定法1.0による） 上記以外の機種　：約5.0 時間（JEITA測定法1.0による）

*7 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。(☞ 3ページ)

● 導入済みソフトウェア

機種名	CF-R1RC2S/CF-R1RT2S/CF-R1RW2S	CF-R1RCXR/CF-R1RCXP/CF-R1RCHXP/CF-R1RCQXP/CF-R1RWXP/CF-R1RWHXP/CF-R1RWQXP/CF-R1RCXS/CF-R1RWXS
OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional with Service Pack2（NTFSファイルシステム）、Microsoft® Windows® MediaPlayer 7.0、Microsoft® Internet Explorer 5.5 Service Pack 2	Microsoft® Windows® XP Professional（NTFSファイルシステム）
ソフトウェア名	DMIビューアー ネットセレクター SDユーティリティ 電波状況モニターII Adobe® Acrobat® Reader 5.0J インテル® SpeedStep™ テクノロジアプレット ORiNOCOクライアントマネージャ*1 WinRoute*1 H"INサインアップ*2 H"INユーティリティ*2	DMIビューアー ネットセレクター SDユーティリティ 電波状況モニターII Adobe® Acrobat® Reader 5.0J H"INサインアップ*2 H"INユーティリティ*2 Panasonic PCオンラインメンバー登録*3 CN-Stage*3 各種プロバイダーオンラインサインナップ*3 Microsoft® Office XP PersonalとMicrosoft® Encarta® 百科事典 2002 Basic*4 Microsoft® Office XP ProfessionalとMicrosoft® Encarta® 百科事典 2002 Basic*5

*1 無線LANモジュール内蔵モデルのみ
*2 H"INモジュール内蔵モデルのみ
*3 個人向けモデルのみ
*4 CF-R1RCHXP/CF-R1RWHXPのみ
*5 CF-R1RCQXP/CF-R1RWQXPのみ

● 個人向けネット販売モデル（機種品番の末尾に「P」がついているモデル　例：CF-R1RCXPなど）について
ご購入時に選択されたオプション（以下）により、一部仕様が異なります。
・無線モジュール（無線LANモジュール内蔵、H"INモジュール内蔵、なしのいずれか）
・搭載メモリー

保証とアフターサービス

別紙の『ご使用の前に』をご覧ください。

・本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
・落丁、乱丁はお取り替えします。
・本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
・本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
・漏洩電流について、この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

＜無線 LAN モジュール内蔵モデルのみ＞

日本国内で無線 LAN モジュールをお使いになる場合のお願い
この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（たとえばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

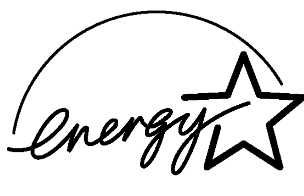
2.4DS4
この機器が、2.4 GHz 周波数帯（2400 から 2483.5 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式の無線装置で、干渉距離が約 40 m であることを意味します。

・Microsoft とそのロゴ、MS、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
・Intel、Pentium、SpeedStep は、米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。
・SD ロゴは商標です。



・Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

愛情点検　長年ご使用のコンピューターの点検を！

こんな症状はありませんか	・異常な音やにおいがする ・水や異物が入った	▶	このような症状の時は故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグとバッテリーパックを抜いて、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　月　日	品　番*	
販売店名	☎(　　)　－	お近くの当社 ご相談センター ☎(　　)　－	

* 保証書に記載されている品番(例:CF-R1RCXR)を記入してください。

松下電器産業株式会社　IT プロダクツ事業部

〒 570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目１０番１２号

FJ0202-0
DFQM5490ZA

